

10月17日(土)オープンに向け 道の駅「季楽里あさひ」のパート社員 を募集

オープンに向け、物販部門、飲食部門のパート社員を募集します。

勤務地／旭市の5238

業務内容／●レジ・物品管理

●キッチン・ホールスタッフ

時間／午前8時30分～午後6時30分

※シフト制(勤務時間は応相談)。

季節により勤務時間延長あり。

給与／時給850円

申込期限／7月31日(金)

申し込み方法／履歴書(写真添付)を郵送、または事前連絡の

上、持参してください。

選考方法／書類選考、面接

事前説明会を開催

日時／7月13日(月) 午後2時～

場所／青年の家2階

〒289・2504 旭市

の5127 株式会社季楽里

あさひ(☎62・0888・青年

の家2階)

自慢の産品を出荷してみませんか

道の駅「季楽里あさひ」

農産物出荷希望者を募集

10月17日にオープンする道の駅「季楽里あさひ」

道の駅の中心施設、農畜水産物等販売施設への農産物の出荷希望者を募集しています。市内の生産者の皆さん、ぜひ自慢の産品を出荷してみませんか。
特に出荷を募集している農産物
ミツバ、ニラ、チンゲン菜、サラダ菜、セリ、ピーマン、アスパラガス、ズッキーニ、オクラ、カリフラワー、パセリ、ゴボウ、大葉、冬ガン、ヤマトイモ、サトイモ、シヨウガ、シイ

タケ、ブルーベリー、スイカ
申し込み方法／企画政策課、農水産課、商工観光課にある申込書に必要事項を記入し、提出してください。
提出場所／企画政策課、農水産課、商工観光課
※申込書は、市ホームページからもダウンロードできます。
企画画政策課政策推進班(☎62・5367)

犯罪のないまちを目指して 7月1日は 「旭市防犯デー」

市では、毎年7月1日を「旭市防犯デー」と定め、7月1日から7日までの1週間を防犯週間としています。

防犯週間では、警察や防犯関係団体などと協力して、さらなるパトロールや啓発活動を行い、地域の安全と市民の防犯意識の向上に努めます。市民の皆さんもこれを機会に、一人一人が防犯意識を持ち、犯罪の起こりにくい、安全で安心して暮らせるまちをつくりましょう。

また市民の皆さんを対象に、

現役警察官による防犯対策をテーマとした防犯講演会を開催します。

防犯講演会

日時／7月3日(金) 午後3時～

場所／東総文化会館小ホール

内容／「旭市内の犯罪発生状況について」防犯ボランティアに

期待されていること」

入場料／無料

園総務課地域安全班(☎62・5

311)

引き続き環境基準達成 ダイオキシン類調査の 測定結果

ダイオキシン類による環境に対する影響への関心の高まりから、市では毎年、環境中のダイオキシン類(コプラナーPCBを含む)の濃度を把握するため、大気や水質、土壌の調査を実施しています。

大気の調査は旭市浄化センターと干潟支所それぞれ年2回(7月と1月に1週間)、水質の調査は新川(干潟大橋)で年1回(7月)、土壌の調査は中央児童公園で年1回(1月)行いまし

平成26年度ダイオキシン類環境調査測定結果

調査項目	調査地点	調査日	調査結果	年平均値	基準値	単 位
大 気	旭市浄化センター	平成26年7月17日 ～24日	0.015	0.073	0.6以下	pg-TEQ/m³
		平成27年1月 7日 ～14日	0.13			
	干潟支所	平成26年7月17日 ～24日	0.020	0.043		
		平成27年1月 7日 ～14日	0.065			
水 質	新川(干潟大橋)	平成26年7月16日	0.41		1.0以下	pg-TEQ/ℓ
土 壌	中央児童公園	平成27年1月30日	0.83		1,000以下	pg-TEQ/g

※pg-TEQ(ピコグラム-TEQ): ピコグラムとは1兆分の1グラムのことです。

た。その結果、いずれの調査も基準値を下回り、平成26年度も環境基準を達成しました。
本年度も同じ地点で調査を行うほか、県も水質の調査(干潟大橋・駒込堰)を行う予定です。
園環境課環境政策班(☎62・5328)

東日本大震災被災者支援情報

活用してください 住まいの復興給付金制度

東日本大震災で被災した住宅の所有者が、消費税率8%引き上げ(平成26年4月1日)以降に、新たに住宅を建築・購入または被災住宅を補修し、その住宅に居住している場合に、消費税率の増税分相当の給付を受けることができます。

制度の内容、申請の対象などの詳しい情報は、住まいの復興給付金事務局のホームページ(<http://fukko-kyufu.jp>)で確認するか、コールセンターまで問い合わせてください。

住まいの復興給付金事務局コールセンター
(☎0120-250460) ※つながらない場合は
(☎022-745-0420)まで。

30%の「お得」を付けて
スーパープレミアム付
旭市共通商品券を販売

予約販売で、予定数に満たなかった数の商品券を販売します。

販売価格／10、000円(1、000円券13枚で1セット)を販売

※1人5セット、1世帯10セットまでとします。

販売日／7月12日(日) 午前9時～午後3時

※売り切れ次第終了

販売場所／旭市商工会(本所・各支所)・干潟駅前区民館

使用可能店舗／旭市商業振興連

合会加入の約500店

※商品券は12月31日(木)までの使用期限付きです。くわしい内容は、7月7日(火)の新聞折り込みチラシで確認してください。

旭市商業振興連合会(☎62・1348・旭市商工会内)

美しい景色、おいしい料理が待っている
姉妹都市での宿泊費を
助成

市民の皆さんが、旭市の姉妹都市の長野県茅野市にある宿泊施設を利用した場合、費用の一部を助成しています。

対象／宿泊した日に住民登録の



蓼科山と八ヶ岳を望む高原都市(茅野市)

ある人

※市税などの滞納がないこと。

利用日数／年度内1人2泊まで

助成額(1人1泊当たり)／●大人3、000円(中学生以上)

●小学生2、250円 ●未就

学児1、750円

※宿泊費の2分の1以内。

申請方法／宿泊終了日から60日

以内に、市民生活課にある申請

書に必要事項を記入し、提出し

てください。申請書は市ホーム

ページからもダウンロードでき

ます。

必要なもの／●領収書の原本

●振り込み先の分かるもの(預

金通帳など) ●印鑑

旭市市民生活課市民生活支援班

(☎62・5396)

旭中央病院便り vol.35



<http://www.hospital.asahi.chiba.jp/>

7月15日(水)から「院外処方」に移行します ～薬の受け取り方が変わります～

これまで外来患者さんの薬は、全て院内で渡していましたが、院外処方へ移行することになりました。当院で発行した「処方せん」を院外にある保険薬局へ持参し、薬を受け取るようになります。くわしくは、病院ホームページ、院内掲示でも見るすることができます。

地域医療の要としてさまざまな役割を担っています

〈高度医療の充実〉

地域がん診療連携拠点病院として、県内12施設のうちの1つに指定されています。高度医療に対応できる設備を導入するとともに、早期診断から外科手術、化学療

法、放射線治療、緩和ケアまで、包括的ながん診療を提供しています。

〈24時間対応の救命救急センター〉

救命救急センターとして、県内11施設のうちの1つに指定されています。また日本医療機能評価機構から、優良センターとして認定されています。昨年度は年間約47,000人以上が救急受診しました。

〈周産期医療の充実〉

千葉県で初の地域周産期母子医療センターとして認可され、年間分娩数は昨年度で1,000を超えています。通常の妊娠・出産はもちろん、高齢出産、合併症のある妊婦の出産にも対応しています。当院では全ての帝王切開症例に対して必ず新生児科医師が立ち会うなど、産婦人科と新生児科が連携して、より安全な出産の手伝いを24時間365日体制で行っています。

〈災害にも強い安全で安心な病院〉

大規模災害時において、発災直後から被災地内での迅速な医療活動の拠点となる、基幹災害医療センターに指定されています。

旭中央病院(☎63-8111・代表)